

平成28年度 ユネスコスクール実践事例

羅臼町立春松幼稚園 園長 工藤 崧
担当 藤本 郁美

1. 【本園のESDの特徴】

- 自然に触れることを通じて、その美しさや不思議さ・力強さやすばらしさを体感し、大切にしようという心を育てる。
- 身近な動植物に関心を持ち、生命の尊さに気づき、やさしい気持ちで大切にしようという心を育てる。
- 地域の人々とかかわり、産業や暮らしのようすに気づき、人とかかわりが大好きな子どもを育てる。
- 生まれ育ったふるさと・羅臼のすばらしさを知り、愛する心を育てる。

2. 【活動全体計画】

(ESD全国大会教員参加、米国教員訪問交流、幼稚園ブログでの報告、リサイクル活動、クリーンアップ活動)

幼児	4月～5月	6月～7月	8月～10月	11月～12月	1月～3月	行事・施設学習
共通 3歳児 ちゅうりっぷ組 (年少組)  4歳児 ひまわり組 (年中組)  5歳児 すみれ組 (年長組)	【春をさがそう・感じよう】 ■園庭、園の周辺での遊びや散歩 ～草花、虫など ■うら山、浜で遊ぼう ～海の様子、海草、貝殻、生き物、磯のにおい、沢水 ■春の生き物ががし ○生き物を使ってみよう ○食べられる春の草～よもぎ、フキ、ごごみ、わらび ◎羅臼の春の野草を食べてみよう(食育) ～ふきの油いため	【春から夏への遊び】 ■園庭、園の周辺、うら山、浜などでの遊びや散歩を楽しもう ○浜あそび、コンブのにおい ■自然の草花で遊ぼう ■町探検に出かけよう ■野山、草や虫探索 ○虫ばかりでなくシカやキツネ、くまについて学ぶ ◎野草・羅臼のいかを食べてみよう(食育) ～よもぎホットケーキ、イカめし ■クリーンアップ活動	【夏・秋をさがそう・感じよう】 ⇒自然の草花で遊ぼう ○川や海で遊ぼう (知西別川、前浜) ■クマ学習 ■落ち葉やどんぐり、まつぼっくり・色のきれいな葉っぱ、木切れを使って遊ぶ ○秋の野山・浜辺のようす、紅葉に気づく ○知西別川に上るサケやマスを観察する	【冬に向かって、季節を感じよう】 ■秋から冬に向かう野山・浜辺のようすを遊びで感じる ■山ぶどうやコクワを採そう ■水を凍らせて遊ぶ ⇒サケの物語～サケの解体を見る～サケなべを味わう ◎落ち葉でやきいもをしよう(食育)	【冬のあそび・知床の冬】 ■冬の野山で遊ぼう ■雪や氷で遊ぼう ○浜辺の様子(前浜に行って流氷や海の生き物)～アザラシ、トド ■知床の冬の動物たちを見よう・採そう(オジロワシ・オオワシ・キツネ・シカ・トド・・・) (園のウラ山に行つてあしあとさがし、ワシさがし、鳴き声をきこう)	・地域交流 ・ありんこ(3歳未満児交流、年6回) ・高齢者交流 ・遠足 ・高校生交流 ・小学生交流(休み時間の遊び、児童会図書委員読み聞かせ、各学年授業交流、リングブルなどのリサイクル活動) ・ESD米国教員訪問交流
すみれ組(年長組)	■生き物を使ってみよう カエルの卵、エゾサンショウウオ、かたつむり、アオムシなど ○フキの皮むき ○ごごみ、笹の子を食べる	■野山の草や虫をさがし、名前を知ろう(自然教育指導員に依頼) ■知床の生き物を見て教えてもらおう(ビジターセンター) ■野菜を育てよう(いも、いんげん、トマトなど) ■羅臼でとれる魚(市場の見学)	■川原や海、山などで知床の秋の紅葉、生き物などを観察したり探したりしよう ■野菜を収穫し、カレーを作ってみんなにごちそうしよう	■寒くなつて生き物はどうなるのかな ■山ぶどうでジュース作り ■大根のつけ物を作ってみよう(食育)	■雪や氷の遊びを工夫してたのしもう ■動物の足あとさがし ○動物の名前を知ろう ■羅臼の昔のようすを見てこよう(郷土資料館) ■ALTと遊ぶ(英語のゲームや歌遊びなどで英語教員とふれあう)	・ビジターセンター ・郷土資料館 ・魚市場見学 ・自然教育指導員 ・ALTと遊ぶ ・コーディネートセッション

3. 【活動事例】

園庭付近の浜で遊ぶ、裏山で遊ぶ



四季を通じて知床の自然にたっぷりとひたって、自然環境のすばらしさを五感で感じられるようにしています。



市場見学～羅臼でとれる魚



5歳児が町の市場に羅臼でとれた新鮮な魚を見学し、販売している海鮮工房のお店に行きました。

クマ学習



知床財団の方が「クマ学習」について色々なことを教えてくださいました。「あさはゆき」クマに出会った時の対応など学びました。

ビジターセンター見学



間欠泉の吹き出した瞬間を見学し、センター内の動植物の剥製に触れ、知床の自然を学びました。

浜のクリーンアップ活動



5歳児が海へ行き、海岸のごみ拾いをしました、園周辺のごみにも気付く子が増え、自らごみ拾いをする様子も見られました。

ESD 米国教員訪問交流



米国教員の方に、園での朝の会見学をしてもらい、海での自然探索活動を共に行いました。

郷土資料館見学



5歳児が「羅臼の昔」がわかる資料館内を見学し、弓矢、せんべい焼体験をし、今と違う古い歴史を学びました。

リサイクル活動



5歳児が園で集めたリングブルを小学校へ届けました。

4. 【成果と課題】

- ・日頃から大切にしている園周辺の自然体験が多くできた。自分の町を好きになる子供が増えた。
- ・ESD 米国教員訪問交流では、海外の方と触れ合い貴重な体験をすることができた。
- ・5歳児による浜のクリーンアップ活動では、地域を知り大切に思える環境を構成することができた。
- ・羅臼の自然について、「豊かな経験」を積み重ねていくために必要な「遊びの充実」を考えていく。